

聖陵

盛岡大学聖陵同窓会報 ● 1999.12 Vol.3

発行者／盛岡大学聖陵同窓会

事務局／〒020-0183 岩手県岩手郡滝沢村滝沢字砂込808

盛岡大学内 電話019-688-5555

CONTENTS December 1999 Vol.3

盛大の 専攻科設置について

CONTENTS

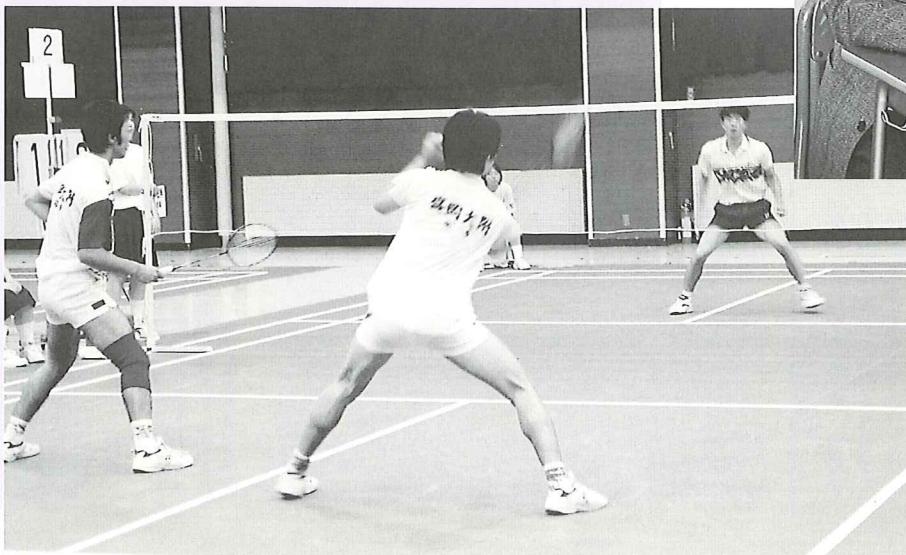
盛岡大学に専攻科設置のお知らせ	—2
発展する盛岡大学	
卒業生は今	—2
盛大運動部特集	—3



▲聖陵祭

►キャンパス見学会

▼全国高等学校総合体育大会



盛岡大学に専攻科設置
母校での専修免許状取得が可能に

新聞でも既に報じられたのでご存じの方も多いと思いますが、盛岡大学では平成十二年四月から専攻科を開設することになりました。対象は大学卒業者または、これと同等以上の学力があると大学が認めた者です。募集する定員は英米文学専攻科十名、日本文学専攻科六名、児童教育専攻科十五名の計三十一名です。修業年限は一年です。教員の一種免を取得していれば、専攻科で所定の単位を修得すると専修免許状が取得できます。

これまで専修免を取得するためには、多くは大学院に進学していたのですが、今後は専攻科へ進学し、専修免許状を取得するというスタイルも一つの選択肢となることでしょう。また、将来、一^一次によって夜間の開講も検討予定なので、現職についている人にとってもより高度な専門教育を学べる再教育の場としても門戸が開かれるわけです。

母校の教育に対するさまざまな取り組み、また地域に根ざした大学としての着実な歩みは卒業生にとても心強く感じます。

募集要項など詳しいことは大学事務室（TEL:019-688-5555）までお問い合わせください。

英米文学専攻科	中学校教諭専修免許状、高等学校教諭専修免許状（ともに英語）
日本文学専攻科	中学校教諭専修免許状（国語）、高等学校教諭専修免許状（国語・書道）
児童教育学専攻科	小学校教諭専修免許状、幼稚園教諭専修免許状

発展する盛岡大学



て、平成十二年度から、入学定員は英米文医学科・〇〇名、児童教育学科・〇〇名になります。なお、日本本校は從来どおり〇〇名となります。この臨定は、恒常化は大学の将来構想の一環であり、大学の展望が大きく開けたと申せましょう。

「正統」の欄に河合塾が全日本の高校教師を対象にした「比較的入り易く、しかも大學で個性があり、入學後も安心できる大學を推薦して下さい」というアンケートを行なった結果を挙げております。それで、大阪経済大、近畿大学、岡山理科大、特に理学部、そして、盛岡大学、教員採用合格者が五位にランクされています。大変うれしいことです。

もつとも、近年、少子化の影響で、生徒数が減少しておりますので、教員の採用枠が激減し、かつてのように、一度に卒業生が百人以上も教員を採用されることや、卒業時に教員試験に合格するということがなくなってしまいまして、教員の採用試験の倍率は大変高く、現役では合格していくというのが現実です。しかし、岩手県の場合、全採用者に対する盛岡大学の卒業生の占める比率が低下したわけではありません。一方、嬉しいニュースもあります。それは、今回の岩手県での高校の英語教員の採用は全体で十三名でした。が、うち五名が本学出身だということです。ちなみ

た、これまでは、大学を卒業した後に、さらに勉強を続けてよう、あるいは、大学時代に興味を抱いたテーマについて研究してみようと思っても、本学では、それを叶える機構はありませんでした。教育免許としては、専修免許が授与される特典がありますので、教育職員免許証を取得しようとすると、学生にとっては、朗報だと思います。

皆さんの中の後輩の学生達の活動について報告します。七月には、学友会主催による球技大会が開催されました。学友会の学生の企画のよもやま話ですが、学生の参加は多く、成功裡に終了しました。十月には、恒例の大學生祭・聖陵祭が行われました。多くの学生達が参加し、成功裡に終りました。大學で勉学に励むことは、もちろん必要ですが、学生を越えて学生同士が協力しあって、何か一つのことを成し遂げることも、学生生活の貴重な体験となると思って居ります。そういう意味で、私は、聖陵祭の成功を大変喜びます。

つぎに、日本医学科一年の兼平爵臣君が、此の度、読売新聞社主催の読売書法展に入選しました。この読売書法展は、日本の書壇にデビューする登竜門と言われており、権威のあるものとのことです。私は、開かれた大学を目指して居ります。公開講座、セミナーなども行つて居ります。どうぞ、ご参加下さい。また、同窓会の皆様には、ご遠慮なく大学に対するご意見をお寄せ下さいますようお願い致します。

第三十一回日展五科書に盛岡大学児童教育学科第四期生の川村竹葉(川村匡世さん)が、漢字「唐詩」で新入選しました。応募作品八千三百九十九点中七百四点が入選、新入選は百十八点でした。

自分でも信じられません。あたたかく見守つてくださる方々のお陰で入選出来たのだと思います。これからも書き続けます。ありがとうございます。川村さんは、盛岡大学附属高等学校で事務務めをする一児の母でもあります。川村さんは、盛岡大学附属高等

A circular black and white portrait of a woman with long, dark hair. She is looking directly at the camera with a neutral expression. She is wearing a dark-colored top. The background is plain and light.

第4期生
児童教育学科卒
川村 匠世

卒業生は今

大学を卒業し三年間、幼稚園で三歳から五歳までの子供たちと一緒に学びました。子供から、そして子供の父母から教えられたことがたくさんありました。まだまだ学びたいことや子供たちと遊びたいという気持ちのまま私は学校法人新藤学園(美里幼稚園・大神里幼稚園)の後継者という仕事をしてきました。ここではやはり、幼稚園経営が主となりますが、不登校・小字化・先生の質

應當日初晴，胡國
慶萬古常安樂。

清者德也

平成十一年度 第三十一回日展初入選
平成八年度 読売新聞社主催鑑賞書法展秀選入
平成九年度 読売新聞社主催鑑賞書法展特選入
平成十年度 読売新聞社主催鑑賞書法展秀選入
平成十一年度 読売書法会新設員昇格評議會

やる気との矛盾に悩むこともしばしばあります。今私は子供たちの笑顔に支えられたがら、あすかり保育午後二時から四時半十分・夏休みの自由登園・空き教室を使っての週二回の幼稚園開放などを行っています。

「幼保一体化」「高齢社会への対応」「地域に根ざした総合教育」を目指して、掲げ積極的な幼稚園づくりを考えたいと思います。

保護者の要望など抱えながらの経営です。私学の幼稚園では教育と経営のバランスを考えながら進まなければなりません。どちらかに偏りすぎれば両面が駄目になることもあります。理想を求めなければ現実が伴わない。現場

集賢殿御物賜胡闕
雲龍屏風金華殿
盧溝古窯傍長城

平成十一年度 第三十一回日展初入選
平成八年度 読売新聞社主催讀賣書法展秀選入
平成九年度 読売新聞社主催讀賣書法展特選入
平成十年度 読売新聞社主催讀賣書法展秀選入
平成十一年度 読売書法会新役昇格(評議員)

硬式テニス部

私達、硬式テニス部は月曜日から土曜日(試合が近いときは日曜日も)鍋屋敷グラントニスコートで活動しています。冬は室内練習、春休みには陸前高田市で合宿も行います。バイトとして、また卒業してからもインストラクターとして活躍されている先輩方もいます。

テニス部は、テニスの好きな人達が集まっている部であり、練習は楽しかったり、厳しかったりしますが、自然に囲まれたコートでの練習はとても気持ちの良いものです。あまりに自然に囲まれすぎで、時々“かもしか”が顔を出すこともあります。多くの大会に参加して好成績を残せるよう頑張っていますので応援よろしくお願いします。



主な活動	
3月	トーナメント大会
4月	金日本大学対抗テニス
5月	王座決定試合
6月	岩手県学生テニス
7月	選手権大会
8月	東北学生テニス
9月	選手権大会
10月	東北テニス新進トーナメント大会
11月	岩手県学生テニス選抜
12月	東北学生春期トーナメント大会

バレーボール部

女子バレーボール部の今年は、春休みの陸前高田市での合宿から始まり、春リーグでは、2部の3位、秋リーグでは、2位という結果を出しました。春リーグでは、順位は変わらないものの、今まで苦戦していた、秋田大学に勝つことができ、みんなで抱き合って喜びました。そして、秋リーグでは、秋田大学、弘前大学に勝ち2位に順位をあげました。これも、日頃の練習の結果だと思います。



男子部は、春リーグでは2部の5位、秋リーグでは4位という結果を出しました。男子部も日頃の練習の成果がでて、順位をあげることができました。平日は、6時半という遅い時から練習していて、長い時は9時までかかるものもありました。

男子も女子も、平日は毎日のように練習しています。しかし、講義のため、毎日全員が集まって練習するというのは、難しいものがあります。でも、その限られた短い時間の中でみんなが楽しく、そして同じ目標に向かって日々、練習に励んで頑張っています。これからも、男女共に、協力して頑張っていこうと思いますので、応援よろしくお願いします。

ソフトボール部

私達男子ソフトボール部は、プレイヤー11人、マネージャー9人で活動しています。高校まで野球をやっていた者が4人いるものの、ソフトボールに関しては全員が素人です。全員でソフトボールを勉強しながら練習を進めています。

練習内容は、守備練習、打撃練習、走塁練習など野球の練習とほとんど同じです。しかし、投手に関しては野球と違い投げ方が特殊なので全員が投げられるようになるとは限りません。投手としての適性の見極めと投手育成が今後の課題です。また、指導者がいないので、硬式野球経験者が中心となって練習メニューを決めています。シーズンオフは、休みをいれながら、ランニング、ストレッチ、ウエイトトレーニングといった体力作り中心の練習をしています。



平成11年度の主な大会の結果は次の通りです。

東北・北海道地区ソフトボール選手権 準決勝敗退
東日本大学ソフトボール選手権 初戦敗退
東北地区大学ソフトボール秋季トーナメント 初戦敗退

盛大運動部特集

大会成績

ラグビー部	
東北地区7人制ラグビーリーグ	
盛岡大学	◆準決勝 岩手大学
盛岡大学	40—5 岩手大学
盛岡大学	石巻専修大学
野球部	
東北地区野球春季リーグ	
盛岡大学	◆準決勝 盛岡大学
盛岡大学	10—40 盛岡大学
盛岡大学	東北学院大学
ラグビー部	
盛岡市民体育大会	
盛岡大学	◆第1部男子の部 第3位 金井陵
盛岡大学	10—40 岩手大学
盛岡大学	石巻専修大学
ラグビー部	
盛岡市民体育大会	
盛岡大学	◆第1部男子の部 第3位 金井陵
盛岡大学	10—40 岩手大学
盛岡大学	石巻専修大学
ラグビー部	
盛岡市民体育大会	
盛岡大学	◆第1部男子の部 第3位 金井陵
盛岡大学	10—40 岩手大学
盛岡大学	石巻専修大学
ラグビー部	
盛岡市民体育大会	
盛岡大学	◆第1部男子の部 第3位 金井陵
盛岡大学	10—40 岩手大学
盛岡大学	石巻専修大学
ラグビー部	
盛岡市民体育大会	
盛岡大学	◆第1部男子の部 第3位 金井陵
盛岡大学	10—40 岩手大学
盛岡大学	石巻専修大学
ラグビー部	
盛岡市民体育大会	
盛岡大学	◆第1部男子の部 第3位 金井陵
盛岡大学	10—40 岩手大学
盛岡大学	石巻専修大学
ラグビー部	
盛岡市民体育大会	
盛岡大学	◆第1部男子の部 第3位 金井陵
盛岡大学	10—40 岩手大学
盛岡大学	石巻専修大学
ラグビー部	
盛岡市民体育大会	
盛岡大学	◆第1部男子の部 第3位 金井陵
盛岡大学	10—40 岩手大学
盛岡大学	石巻専修大学
ラグビー部	
盛岡市民体育大会	
盛岡大学	◆第1部男子の部 第3位 金井陵
盛岡大学	10—40 岩手大学
盛岡大学	石巻専修大学
ラグビー部	
盛岡市民体育大会	
盛岡大学	◆第1部男子の部 第3位 金井陵
盛岡大学	10—40 岩手大学
盛岡大学	石巻専修大学
ラグビー部	
盛岡市民体育大会	
盛岡大学	◆第1部男子の部 第3位 金井陵
盛岡大学	10—40 岩手大学
盛岡大学	石巻専修大学
ラグビー部	
盛岡市民体育大会	
盛岡大学	◆第1部男子の部 第3位 金井陵
盛岡大学	10—40 岩手大学
盛岡大学	石巻専修大学
ラグビー部	
盛岡市民体育大会	
盛岡大学	◆第1部男子の部 第3位 金井陵
盛岡大学	10—40 岩手大学
盛岡大学	石巻専修大学
ラグビー部	
盛岡市民体育大会	
盛岡大学	◆第1部男子の部 第3位 金井陵
盛岡大学	10—40 岩手大学
盛岡大学	石巻専修大学
ラグビー部	
盛岡市民体育大会	
盛岡大学	◆第1部男子の部 第3位 金井陵
盛岡大学	10—40 岩手大学
盛岡大学	石巻専修大学
ラグビー部	
盛岡市民体育大会	
盛岡大学	◆第1部男子の部 第3位 金井陵
盛岡大学	10—40 岩手大学
盛岡大学	石巻専修大学
ラグビー部	
盛岡市民体育大会	
盛岡大学	◆第1部男子の部 第3位 金井陵
盛岡大学	10—40 岩手大学
盛岡大学	石巻専修大学
ラグビー部	
盛岡市民体育大会	
盛岡大学	◆第1部男子の部 第3位 金井陵
盛岡大学	10—40 岩手大学
盛岡大学	石巻専修大学
ラグビー部	
盛岡市民体育大会	
盛岡大学	◆第1部男子の部 第3位 金井陵
盛岡大学	10—40 岩手大学
盛岡大学	石巻専修大学
ラグビー部	
盛岡市民体育大会	
盛岡大学	◆第1部男子の部 第3位 金井陵
盛岡大学	10—40 岩手大学
盛岡大学	石巻専修大学
ラグビー部	
盛岡市民体育大会	
盛岡大学	◆第1部男子の部 第3位 金井陵
盛岡大学	10—40 岩手大学
盛岡大学	石巻専修大学
ラグビー部	
盛岡市民体育大会	
盛岡大学	◆第1部男子の部 第3位 金井陵
盛岡大学	10—40 岩手大学
盛岡大学	石巻専修大学
ラグビー部	
盛岡市民体育大会	
盛岡大学	◆第1部男子の部 第3位 金井陵
盛岡大学	10—40 岩手大学
盛岡大学	石巻専修大学
ラグビー部	
盛岡市民体育大会	
盛岡大学	◆第1部男子の部 第3位 金井陵
盛岡大学	10—40 岩手大学
盛岡大学	石巻専修大学
ラグビー部	
盛岡市民体育大会	
盛岡大学	◆第1部男子の部 第3位 金井陵
盛岡大学	10—40 岩手大学
盛岡大学	石巻専修大学
ラグビー部	
盛岡市民体育大会	
盛岡大学	◆第1部男子の部 第3位 金井陵
盛岡大学	10—40 岩手大学
盛岡大学	石巻専修大学
ラグビー部	
盛岡市民体育大会	
盛岡大学	◆第1部男子の部 第3位 金井陵
盛岡大学	10—40 岩手大学
盛岡大学	石巻専修大学
ラグビー部	
盛岡市民体育大会	
盛岡大学	◆第1部男子の部 第3位 金井陵
盛岡大学	10—40 岩手大学
盛岡大学	石巻専修大学
ラグビー部	
盛岡市民体育大会	
盛岡大学	◆第1部男子の部 第3位 金井陵
盛岡大学	10—40 岩手大学
盛岡大学	石巻専修大学
ラグビー部	
盛岡市民体育大会	
盛岡大学	◆第1部男子の部 第3位 金井陵
盛岡大学	10—40 岩手大学
盛岡大学	石巻専修大学
ラグビー部	
盛岡市民体育大会	
盛岡大学	◆第1部男子の部 第3位 金井陵
盛岡大学	10—40 岩手大学
盛岡大学	石巻専修大学
ラグビー部	
盛岡市民体育大会	
盛岡大学	◆第1部男子の部 第3位 金井陵
盛岡大学	10—40 岩手大学
盛岡大学	石巻専修大学
ラグビー部	
盛岡市民体育大会	
盛岡大学	◆第1部男子の部 第3位 金井陵
盛岡大学	10—40 岩手大学
盛岡大学	石巻専修大学
ラグビー部	
盛岡市民体育大会	
盛岡大学	◆第1部男子の部 第3位 金井陵
盛岡大学	10—40 岩手大学
盛岡大学	石巻専修大学
ラグビー部	
盛岡市民体育大会	
盛岡大学	◆第1部男子の部 第3位 金井陵
盛岡大学	10—40 岩手大学
盛岡大学	石巻専修大学
ラグビー部	
盛岡市民体育大会	
盛岡大学	◆第1部男子の部 第3位 金井陵
盛岡大学	10—40 岩手大学
盛岡大学	石巻専修大学
ラグビー部	
盛岡市民体育大会	
盛岡大学	◆第1部男子の部 第3位 金井陵
盛岡大学	10—40 岩手大学
盛岡大学	石巻専修大学
ラグビー部	
盛岡市民体育大会	
盛岡大学	◆第1部男子の部 第3位 金井陵
盛岡大学	10—40 岩手大学
盛岡大学	石巻専修大学
ラグビー部	
盛岡市民体育大会	
盛岡大学	◆第1部男子の部 第3位 金井陵
盛岡大学	10—40 岩手大学
盛岡大学	石巻専修大学
ラグビー部	
盛岡市民体育大会	
盛岡大学	◆第1部男子の部 第3位 金井陵
盛岡大学	10—40 岩手大学
盛岡大学	石巻専修大学
ラグビー部	
盛岡市民体育大会	
盛岡大学	◆第1部男子の部 第3位 金井陵
盛岡大学	10—40 岩手大学
盛岡大学	石巻専修大学
ラグビー部	
盛岡市民体育大会	
盛岡大学	◆第1部男子の部 第3位 金井陵
盛岡大学	10—40 岩手大学
盛岡大学	石巻専修大学
ラグビー部	
盛岡市民体育大会	
盛岡大学	◆第1部男子の部 第3位 金井陵
盛岡大学	10—40 岩手大学
盛岡大学	石巻専修大学
ラグビー部	
盛岡市民体育大会	
盛岡大学	◆第1部男子の部 第3位 金井陵
盛岡大学	10—40 岩手大学
盛岡大学	石巻専修大学
ラグビー部	
盛岡市民体育大会	
盛岡大学	◆第1部男子の部 第3位 金井陵
盛岡大学	10—40 岩手大学
盛岡大学	石巻専修大学
ラグビー部	
盛岡市民体育大会	
盛岡大学	◆第1部男子の部 第3位 金井陵
盛岡大学	10—40 岩手大学
盛岡大学	石巻専修大学
ラグビー部	
盛岡市民体育大会	
盛岡大学	◆第1部男子の部 第3位 金井陵
盛岡大学	10—40 岩手大学
盛岡大学	石巻専修大学
ラグビー部	
盛岡市民体育大会	
盛岡大学	◆第1部男子の部 第3位 金井陵
盛岡大学	10—40 岩手大学
盛岡大学	石巻専修大学
ラグビー部	
盛岡市民体育大会	
盛岡大学	◆第1部男子の部 第3位 金井陵
盛岡大学	10—40 岩手大学
盛岡大学	石巻専修大学
ラグビー部	
盛岡市民体育大会	
盛岡大学	◆第1部男子の部 第3位 金井陵
盛岡大学	10—40 岩手大学
盛岡大学	石巻専修大学
ラグビー部	
盛岡市民体育大会	
盛岡大学	◆第1部男子の部 第3位 金井陵
盛岡大学	10—40 岩手大学
盛岡大学	石巻専修大学
ラグビー部	
盛岡市民体育大会	
盛岡大学	◆第1部男子の部 第3位 金井陵
盛岡大学	10—40 岩手大学
盛岡大学	石巻専修大学
ラグビー部	
盛岡市民体育大会	
盛岡大学	◆第1部男子の部 第3位 金井陵
盛岡大学	10—40 岩手大学
盛岡大学	石巻専修大学
ラグビー部	
盛岡市民体育大会	
盛岡大学	◆第1部男子の部 第3位 金井陵
盛岡大学	10—40 岩手大学
盛岡大学	石巻専修大学
ラグビー部	
盛岡市民体育大会	
盛岡大学	◆第1部男子の部 第3位 金井陵
盛岡大学	10—40 岩手大学
盛岡大学	石巻専修大学
ラグビー部	
盛岡市民体育大会	
盛岡大学	◆第1部男子の部 第3位 金井陵
盛岡大学	10—40 岩手大学
盛岡大学	石巻専修大学
ラグビー部	
盛岡市民体育大会	
盛岡大学	◆第1部男子の部 第3位 金井陵
盛岡大学	10—40 岩手大学
盛岡大学	石巻専修大学
ラグビー部	
盛岡市民体育大会	
盛岡大学	◆第1部男子の部 第3位 金井陵
盛岡大学	10—40 岩手大学
盛岡大学	石巻専修大学
ラグビー部	
盛岡市民体育大会	
盛岡大学	◆第1部男子の部 第3

インフォメーション・聖陵

事務局から

平成11年度同窓会一般会計報告
平成10年4月1日～平成11年3月31日

(単位 円)

退職教員名簿

氏名	退職年月	氏名	退職年月	氏名	退職年月	氏名	退職年月
昭和56年度		昭和61年度		鈴木富生	3.3	津山博之	7.3
G. ベーカー	57.3	高橋八郎	61.5	J. ヘリック	3.3	土井六郎	7.3
昭和57年度		市原聰子	62.3	近藤健史	3.3	佐々木晶子	7.3
会津隆司	58.3	昭和62年度		音喜多忠	3.3	平成7年度	
高橋加寿子	58.3	田宮進	62.9	大平栄子	3.3	長沢美穂	8.3
工藤和子	58.3	丸山久美子	63.3	C. コフマン	3.3	三松政志	8.3
昭和58年度		大久保英哲	63.3	鳥本幾子	3.3	平成8年度	
歌崎明子	59.3	昭和63年度		平成3年度		上木永生	9.3
昭和59年度		千葉良雄(逝)	63.11	新田勝彦(逝)	4.3	斎藤萬博	9.3
嶋稔(逝)	59.9	大畠莊一	元.3	宮崎正藏	4.3	大佐藤佑(逝)	9.3
菅野幸宏	60.3	目黒充	元.3	遠藤喜美子	4.3	平成9年度	
赤石清悦	60.3	原田萬三	元.3	佐藤弘夫	4.3	高橋富雄	10.3
横澤四郎(逝)	60.3	梶塚隆光	元.3	田口幹比古	4.3	丸山茂(逝)	10.3
斎藤國夫(逝)	60.3	清水一雄	元.3	リン・ペナー	4.3	遊座昭吾	10.3
竹本貞之	60.3	板垣信哉	元.3	平成4年度		佐々木健夫	10.3
久武慶蔵	60.3	富田光明	元.3	安酸敏眞	5.3	岡田健一	10.3
河野道弥	60.3	鳥居裕子	元.3	佐藤晋	5.3	池田賢一	10.3
小野寺明男	60.3	平成元年度		平成5年度		平成10年度	
鈴木眞佐子(逝)	60.3	細川和子	元.5	星野富一	6.3	日蔭千賀子	11.2
谷萩弘道	60.3	高階玲治	元.9	塩田日出夫	6.3	角谷晋次	11.3
金子エキ	60.3	加藤千代司	2.3	大友芳郎	6.3	山村孝	11.3
高橋瑞枝	60.3	金田一芳美(逝)	2.3	船越芳男子	6.3	中島克	11.3
昭和60年度		木村吉彦	2.3	北本和子	6.3	島永	11.3
鷹觜洋一(逝)	61.3	平成2年度		平成6年度		上	
篠崎謙一(逝)	61.3	細川泰子(逝)	2.6	須知茂	7.3	や	
海野経(逝)	61.3	長谷部茂(逝)	2.12	宮本恵光	7.3	りやすくなるの	
C. アッシュマン	61.3	正印真之(逝)	2.12	田野秀康	7.3	く	

同窓会報特派員募集!

1年に一度発行される同窓会報であるにもかかわらず、返信はがきによる同窓生の皆様からの様々なご意見やご感想も増えてきています。中には「情報があつたら協力したい。」というありがたい声もあり、編集委員一同うれしい気持ちでいっぱいです。

次号は第4号にもなります。視点を変えて皆様からの情報を盛りだくさん取り入れ、より濃い内容の会報を頁数を増やして発行できたなら、もっと同窓生と同窓会が一体化していくように思います。そこで、特派員という形で編集に携わってくださる方を募集します。そこから各地方支部が出来、「支部会（飲み会）を開いてみたい。」という声にもいずれは応えることが出来ればよいなあと、編集委員一同夢を馳せています。

私のことを伝えたい方・その人のことを伝えたい方・母校について気になることのある方等々、まずは編集委員あてにお手紙・お電話・e-mailください。来るべき21世紀に向けいっしょに同窓会の明るい未来を築きましょう！

そこでお願ひですが、住所等が変更になったときは、ぜひ同窓会事務局にご連絡ください。事務局としての理想は、同窓生全員分を整備することですが、それに少しでも近づくよう努めたいと考えています。よろしくお願いします。

また、盛岡大学の母胎である学校法人盛岡大学が平成13年を50周年を迎えます。まだ、この50周年に関する具体的な事業計画は示されておりませんが、同窓会としても何らかの協力をしていきたいと考えています。

私のことを伝えたい方・その人のことを伝えたい方・母校について気になることのある方等々、まずは編集委員あてにお手紙・お電話・e-mailください。来るべき21世紀に向けいっしょに同窓会の明るい未来を築きましょう！

これまで同様「同窓会名簿作成事業」、「平成11年度卒業生名簿」、「同窓会報事業」、「同窓会員管理システム化事業」、「盛岡大学寄付事業」を予定しております。現時点すでに実行されているものもあります。

特に、同窓会管理システム化事業については、昨年度予算にてコンピュータを購入し、名簿の整理に入るところです。これにより、この同窓会報の発行や事務処理がこれまで以上にやりやすくなるのではと考えています。

そこでお願ひですが、住所等が変更になったときは、ぜひ同窓会事務局にご連絡ください。事務局としての理想は、同窓生全員分を整備することですが、それに少しでも近づくよう努めたいと考えています。よろしくお願いします。

また、盛岡大学の母胎である学校

項目	収入の部		支出の部	
	予算額	決算額	項目	予算額
繰越金	2,720,207	2,720,207	事業費	1,300,000
会費	4,050,000	4,010,000	事務費	100,000
寄付金	0	0	通信費	500,000
雑収入	81,793	97,232	会議費	100,000
			慶弔費	100,000
			旅費交通費	100,000
			財政基金	3,000,000
			予備費	1,652,000
			計	6,852,000
			繰越金	0
合計	6,852,000	6,827,439	合計	6,852,000
				6,827,439

編集後記

「聖陵」第3号では、編集委員4名が第2号のアンケートはがき137枚を何度も回し読みした結果、最も要望の多かった「盛大生の運動部の様子」「退職した先生の名簿」「今活躍している同窓生の紹介」の3つをピックアップさせていただきました。他にも同窓会に対してあるいは母校盛岡大学に対して厳しくもあり温かくもあるたくさんのご意見等が寄せられましたので、11月6日の役員会の席でまとめて報告させていただきました。今後も皆さんの意見を活かし、同窓生の熱い思いを形にしてゆきたいと思います。積極的な会報への参加を編集委員一同心からお待ちしています。

●編集委員

吉田典子（旧姓高井） 第2期生
川村匡世 第4期生
瀬川 治 第7期生
藤澤弘樹 第9期生

●連絡先 〒020-0183

岩手県岩手郡滝沢村滝沢字砂込808 盛岡大学内 同窓会事務局

TEL019-688-5555

盛岡大学ホームページ <http://www.nnet.ne.jp/~morigai/>

(e-mailは同窓会ホームページができるまではタイトルを「聖陵同窓会」として mc-soumu@nnet.ne.jp に送って下さい。)